

第 17 号

2016 年 7 月 15 日
(平成 28 年 7 月 15 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8001
奈良市法華寺町 254-1
株式会社奈良ロイヤルホテル内

5周年を機に小北理事長が勇退、鈴木新体制が発足！



平成 28 年度通常総会 (6/19)

6 月 19 日 (日)、当会の通常総会・講演会と 5 周年記念祝賀会が奈良ロイヤルホテルで開催されました。総会には 166 人、講演会には 190 人、祝賀会には 96 人が出席されました。

今回は 2 ページをいただき、その模様や最近の活動、先日実施したアンケート結果の概要を紹介します。(専務理事 鉄田 憲男)

小北前理事長は顧問に就任

今年は奈良まほろばソムリエの会 (任意団体) が発足して 5 周年、NPO 化して 3 周年の節目の年です。総会では、これまで 5 年間当会を率いてこられた小北博孝理事長を含め 6 人の理事が退任され、新たに 6 人の新理事が就任。



馬場基氏による講演

その後の互選により、鈴木^{ゆたか}浩理事長、豊田敏雄副理事長、長岡光彦副理事長らによる新体制がスタートしました。小北前理事長は顧問に就任されました。新理事などの顔ぶれは次号で紹介する予定ですが、グループ (G) 担当の理事だけを以下に掲載します (敬称略)。

ガイド G 安井、保存継承 G 亀田、広報 G 豊田、啓発 G 大山、講演講座 G 小野、歴史探訪 G 大村、女性 G 道崎。

講演会では「万葉集から古代都城の変遷を探る」の演題で、奈良文化財研究所主任研究員・馬場^{はじめ}基氏による興味深いお話に耳を傾けました。



Jazzy Club による演奏

祝賀会では、12 人の来賓をお迎えしてご祝辞などをいただき、また奈良女子大学「Jazzy Club」メンバーによるジャズ演奏を楽しみました。この模様は当日夜の奈良テレビニュースや翌日の奈良新聞などで大きく紹介されました。



5 周年で記者会見。向かって左から、鈴木理事長、小北前理事長、豊田副理事長 (6/7)

これらの行事に先立ち、6 月 7 日 (火) には奈良県文化記者クラブで記者会見。同時に保存継承グループ担当の鈴木英一前理事から市町村指定文化財の調査結果も公表し、波紋を投げかけました。



調査結果を公表する鈴木前理事

※まほろばソムリエの心得 3 か条

1. 特定少数相手より不特定多数相手
2. やりたいことより求められていること
3. インプットよりアウトプット



古都奈良アカデミーの講話 (6/14)

まほろばソムリエの心得 3カ条

今年度も新たな会員をたくさんお迎えし、会員数は約 330 人となりました。この機会に、社会貢献団体である NPO の会員として心がけていただきたい3つの留意事項について書いておきます。



体験学習プログラム (6/17)

特定少数でなく不特定多数が相手

NPO は仲良しクラブではありません。NPO の目的は「不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与すること」(NPO 法)です。

会員や知人など特定少数を相手とした活動にとどまることなく、不特定多数に広がる活動をお願いします。

世間から求められていることを

NPO の会員は「やりたいこと」だけをやってはいけません。世間から求められている活動を行うことで「公益の増進に資する」(NPO 法)ことが大切です。

そのためには「世間から何が求められているか」「それを実現



ムジークフェストで岡寺を解説 (6/21)

するためには何をすべきか」をよく考え、行動してください。

インプットよりアウトプットを目標に

皆さんの豊富な知識や経験は、天国へは持っていきません。この世でアウトプットして、世のため人のために役立てなければなりません。アウトプットしようとするので、目標はアウトプットです。

これら 3 カ条を念頭に、NPO 会員としてふさわしい活動に邁進していただきたいと思います。



講師養成講座 (啓発 G 7/3)

会員向けアンケート結果の概要

標記結果の概要をお知らせします。詳細は追って当会のホームページに掲載される予定です。

1. 実施月 平成 28 年 3 月
2. 調査方法 郵送・無記名式
3. 有効回答 169 人

1. 当会入会の理由 (複数回答)

ダントツは「自分の勉強になると思った」74%。2 位は「仲間と活動したかった」28%。

2. グループ入会について

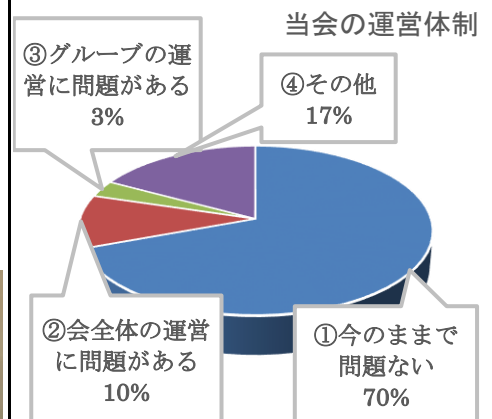
未加入が 28%。未加入の理由 (複数回答) はダントツで「忙しくて参加できそうにない」72%。

3. 当会行事への参加状況

グループ加入者は参加が 78%、同未加入者は参加 24%と対照的。

4. 当会の運営体制

「今のままで問題ない」が 70%。意見としては「全体像が見えない」「社会貢献の動きが見えない」「グループの実態が分からない」などの声をいただきました。



5. 行事 (グループ活動を含む)

「今のままでよい」が 80%。

6. 5 周年ツアー (複数回答)

「湖北観音」32%、「継体陵など」30%、「近つ飛鳥」27%が三傑。現在、湖北観音巡拝を企画中です。



吉野山ツアー (ガイド G 5/28)

当会の「グループ」に入ろう!

当会会員のうち約 3 割がグループに未加入です。未加入者の当会行事への参加率は約 2 割 (加入者は約 8 割)。グループ活動が当会の活動のベースとなります。ぜひ、グループにお入りください!

連絡先: info@stomo.jp

電車やバスで奈良を歩く

「宇陀に隠れ仏を求めて」をテーマに榛原の戒長寺を訪れてみたい。

戒長寺は半丈六の薬師如来をご本尊として祀り、さらに各寺・各院から寄せられた数多くの諸仏をご本堂内に祀っている。

なかでも、ご本尊の裏手にひっそりとたたずむお薬師さまには、ぜひともお会いしていただきたいのである。端正なお姿、どこまでもやさしく穏やかな顔である。幾世代も幾世代も貧乏と病気に苦しむ庶民のまじかに寄りそってきたお薬師さまである。

電車やバスを使って奈良を歩く、とっておきのウォーキングを紹介する。今回は宇陀市の戒長寺

を訪れる。奈良盆地と比べて温度が5度も低いという夏向きの古刹である。



米野隆光住職

ご住職は米野隆光師、「隠れ寺、隠れ仏といわれるが、別に隠れているわけではない。心身ともに癒される戒長寺、頼りがいのあるご仏像、いつでもお待ちしております」と笑顔で語られる。

戒長寺は薬師如来の眷属であ

る十二神将像を鐘身に鑄だした梵鐘が名高い。境内の葉つきイチョウの大樹は、秋、一面に黄金のじゅうたんを敷き詰める。

榛原駅から戒長寺まではタクシー、戒長寺からは涼やかな林間コースを下り西方寺に至る。こちらの薬師如来像も必ず拝観したい。平成26年に重要文化財に指定されている。西方寺の拝観後は奈良交通バス（天満台東4丁目）で榛原駅に戻る。高倉下命（たかくらじのみこと）を祀った棕本神社、伊勢街道の旅籠、あぶらやを順路で楽しむことができる。

戒長寺と西方寺、堂内の拝観はいずれも事前の連絡が必要である。（雑賀 耕三郎）

シリーズ「古墳を楽しむ」

奈良の古墳散策をしていると時折面白い風景に出会う。畑の中に古墳があるというか、古墳そのものが畑となっている。墳丘はそのままの形で残っているが、古墳上は耕されて野菜や果樹などが植えられている。盛土が崩れないようにしっかり石垣が積んであるのは古墳を守るというよりも畑が崩れないようにしているのか。遺跡そのものが現代人の生活空間となり上手く共存している。文化財保護という視点からみて疑問は残るが、何となく微笑ましい光景でもある。

奈良という風土の長閑さがそう感じさせるのか。古墳が別のものに姿を変えているのは墳丘だけではない。石棺や石室の石材も様々な姿に変えて新たな文化財となっているようだ。あちこち探せば見

つかる。

大和高田市小池寺山門前の小さなお堂に祀られた地蔵菩薩は石棺の蓋の部分を利用して彫られている。知らなければどこにでもある石の地蔵だが、よく見ると蓋の形が確認できる。



小池寺山門前の地蔵菩薩

また、石棺の身の部分は手水鉢に再利用されているケースもある。あまり手を加えずに利用できる便利さからなのか。古墳のほとんどは盗掘や破壊を受けてむき出

し状のことが多い。天井石だけぽっかりと無いものや、側壁石の無いものはすでに何かに利用されているようだ。



阿弥陀橋

香芝市良福寺に、長持形石棺の棺蓋を阿弥陀橋の石材として使っていたものが集められ路傍に置かれている。どんどん車が通る狭い道の傍らに阿弥陀仏に見立てた石棺材が祀られているのだ。あまり有名ではないが身近にさりげなく文化財がある。それが奈良の魅力でもある。（道崎 美幸）

春日大社 第60次式年造替



春日大社中門（撮影 桑原英文）

今年、春日大社は第60次式年造替を迎えます。20年に一度、神様の御加護に感謝を申し上げ、さらなる御加護の御力を発揮して頂くために、御社殿を新しく差し上

げることであります。

1200年以上積み重ねて、今年60回目を迎えました。古いところでは平安時代の『中右記』や『殿暦』に、宮中において天皇陛下を交えて春日大社の造替についての大きな会議が開かれ、私の先祖である家忠が天皇陛下の奉幣のために宮中から御遷座へ差し使わされた記録があります。

新しいところでは江戸時代の元禄の御遷座では、大勢の奈良の皆さんがワクワクしながら御遷座に感激されている様子が、奈良奉行所関係者による『春日社御造営記』に残っています。

1200年間にわたる様々な時代に、多くの記録が残っています。いつの時代にも大切に丁寧に行われ、人々が神様と共に感動してい

た記録が残っています。

春日大社の造替のすごさは、伊勢神宮でさえも戦国時代には20年ごとの遷宮が130年近く滞っていたにもかかわらず、春日大社は20年が30年余にしか伸びていないのです。

平成28年は式年造替の大変めでたい年であります。秋からは正遷宮の11月6日へ向けての関連の行事や国宝352点を所蔵する国宝殿のリニューアルオープンがあり、御遷座後にはさらに多くの奉祝行事が行われます。

奈良まほろばソムリエの会の皆様にはいつもお世話になっております。どうか皆様も御参加されて、一緒にお喜び頂きますようによろしくお願い致します。

（春日大社 宮司 花山院弘匡）

「定期講演会開催のお知らせ」

日時：平成28年10月30日（日）13:30～（受付開始13:00）
場所：やまと郡山城ホール（近鉄橿原線・近鉄郡山駅から徒歩7分）
講演会講師：菅谷 文則氏（橿原考古学研究所所長）
演題：邪馬台国の女王 卑弥呼の謎 ——記紀に登場する人物を読み解く（予定）——

<編集後記>

早いもので、NPO法人になってから3年たちました。新理事長のもと新たな体制で進んでいきます。『ソムリエの風』も、みなさんにもっと楽しんでいただけるような企画を盛り込めたらいいなと考えております。みなさんからの原稿が命ですので、楽しい原稿をお待ちしております。

秋山・上谷・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・竹内・豊田(敏)・永井・中村・橋口・廣岡・二上・松森・吉川・米山



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8001 奈良市法華寺町254-1

株式会社奈良ロイヤルホテル内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記（ブログ）：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード